

4) 糖尿病・内分泌・代謝内科

1. 診療体制と患者構成

1) 診療科スタッフ（講師以上）

石田 均（教授、診療科長）

保坂 利男（講師）

近藤 琢磨（講師）

2) 常勤医師数、非常勤医師数

常勤医師：22名、非常勤医師：8名

3) 指導医、専門医数

日本内科学会指導医：7名 日本内科学会専門医：5名 日本内科学会認定医：24名

日本糖尿病学会指導医：3名 日本糖尿病学会専門医：10名

日本内分泌学会指導医：6名 日本内分泌学会専門医：7名

日本病態栄養学会指導医：2名 日本病態栄養学会専門医：3名

日本肥満学会指導医：1名 日本肥満学会専門医：1名

日本臨床栄養学会臨床栄養指導医：1名

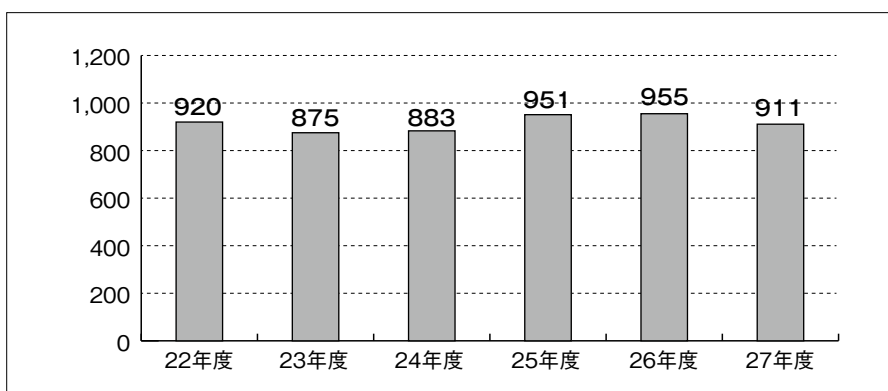
4) 外来診療の実績

専門外来の種類：

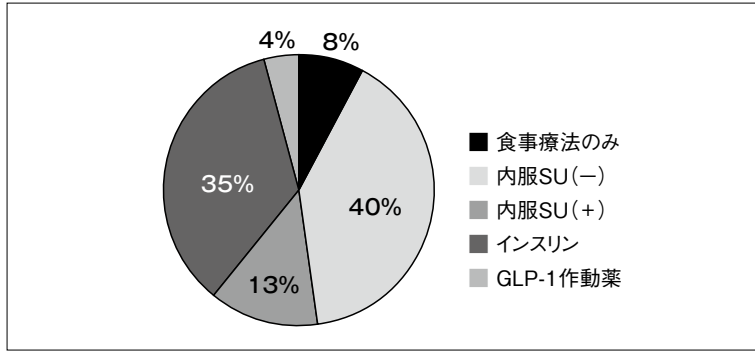
第三内科：糖尿病・内分泌・代謝内科では、糖尿病・代謝内分泌学を中心に、幅広い診療を行っている。特に、糖尿病外来では医師による診療の他、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師・薬剤師・管理栄養士などによる面接や指導を糖尿病療養指導外来において随時行っている。さらに、インスリン治療及び持続皮下インスリン注入療法（CSII）を要する患者に対して外来での導入も行っている。また、甲状腺穿刺吸引細胞診や内分泌学的負荷試験などは必要に応じて外来で行っている。

平成27年度 外来患者総数：32,404名

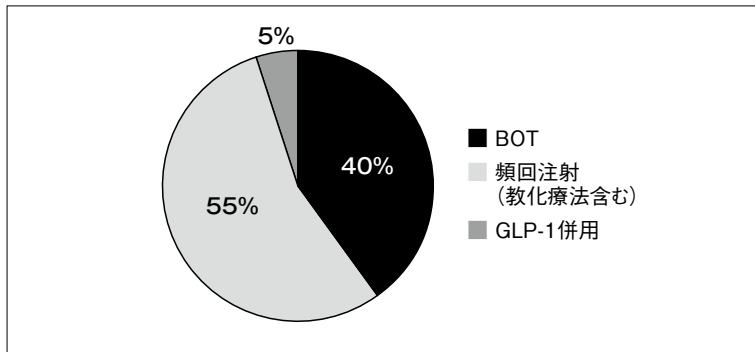
糖尿病療養指導外来 月平均利用件数



外来患者の治療内容

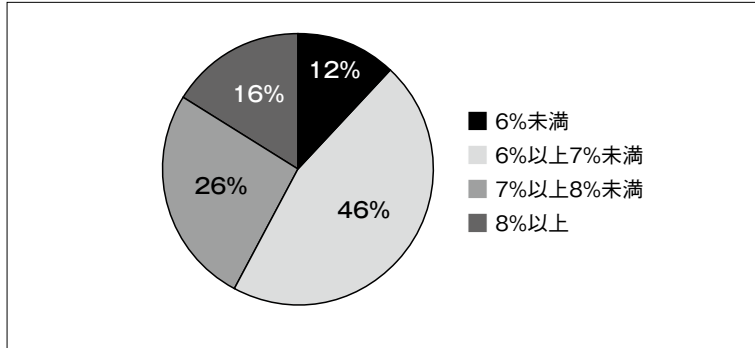


外来患者の治療内容



外来通院中の糖尿病患者の平均HbA1c値 7.0%±1.1

HbA1c分布



5) 入院診療の実績

患者総数：311名

主要別者数：

疾患名	人数
糖尿病	205
下垂体卒中	1
汎下垂体機能低下症	5
ACTH単独欠損症	2
先端巨大症	5
クッシング病	2
SIADH	7
低Na血症	1
中枢性尿崩症	1
ラトケ嚢胞	1
プロラクチノーマ	2
周期性ACTH・ADH放出症候群	1
甲状腺クリーゼ	2
バセドウ病	3
原発性副甲状腺機能亢進症	2
高Ca血症	1
原発性アルドステロン症	17
サブクリニカルクッシング症候群	3
褐色細胞腫	2
原発性副腎機皮質能低下症	1
MRHE	4
副腎腫瘍	1
低K血症	1
性腺機能低下症	1
腫瘍性骨軟化症	1
その他	39
計	311

死亡患者数：1名

剖検数：0

平均在院日数：14.3日

稼働率：93.6%

表

	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)
外来患者総数	29,892	32,025	33,098	32,404
入院患者合計	254	330	298	311
糖尿病	187	197	208	205
下垂体疾患	1	8	15	28
甲状腺疾患	1	1	5	5
副甲状腺疾患	3	1	0	2
副腎疾患	6	18	14	24
その他	56	105	56	47
死亡患者数	1	1	0	1

2. 先進的医療への取り組み

MRIなどの画像診断や詳細なホルモン動態の観察により、従来は下垂体前葉機能低下症として捉えていた病態の中から、さらに上位中枢である視床下部障害によるホルモン異常症の発見や治療に積極的に取り組んでいる。

糖尿病の入院患者の一部、とくに1型糖尿病患者に対しては持続血糖測定（CGMS）、外来患者での持続インスリン皮下注射（CSII）を用いた治療を行っている。

3. 低侵襲医療の施行項目と施行例数

特になし。

4. 地域への貢献

近隣の医師を対象として、糖尿病の診断や治療に関する講演会、内分泌疾患に関する勉強会等を随時行っている。

また、多摩地区を中心に医療レベルの向上を目的として、以下の研究・講演会活動を定期的に行っている。

医師会講演会 5回

主な研究会

- ・北多摩南部保健医療圏糖尿病医療連携検討会
- ・西東京インスリン治療研究会
- ・多摩視床下部下垂体勉強会
- ・多摩血管-代謝研究会
- ・武蔵野生活習慣病カンファレンス
- ・Islet Biology 研究会
- ・多摩内分泌代謝研究会